



農林中央金庫



日本政策金融公庫

2026 年 7 月 24 日

らくのう乳業株式会社

農林中央金庫

株式会社日本政策金融公庫

東日本地域における酪農生産基盤の持続的発展に向けた取り組み ～持続可能な酪農生産基盤の構築に向けたファイナンス対応～

農林中央金庫（以下、「農林中金」）および株式会社日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」）は、らくのう乳業株式会社（以下、「らくのう乳業」）が福島県郡山市に建設を予定している乳製品工場の設備投資（総額 176 億円）に対し、農林中金は 2026 年 6 月(実行済)に、日本公庫は 2026 年 8 月(予定)に、ファイナンスによる支援をすることをお知らせいたします。

1. 本取り組みの背景

都府県の乳製品工場は、生乳の季節的な需給ギャップに対し、長期保管できる脱脂粉乳やバター等への加工処理を行うことで生乳の需給調整や適切な価格形成の維持を図ってきました。

一方で、その乳製品工場の多くで老朽化が進行しており、設備の新設や高度化は国内酪農・乳業界全体における喫緊の課題となっています。こうした背景から、2025 年 10 月 1 日、全国酪農業協同組合連合会・全国農業協同組合連合会・東北生乳販売農業協同組合連合会・関東生乳販売農業協同組合連合会は、4 者共同で「らくのう乳業」を設立し、東日本地域における生乳需給調整の要となる広域的な乳製品工場の建設を進めています（2028 年 12 月、工場稼働予定）。

本工場は、1 日あたり最大 400t の生乳処理能力を備え、酪農業界のセーフティネットとして機能する重要なインフラとなる施設です。この重要性に鑑み、農林中金および日本公庫は、本事業を日本の酪農の未来を支える案件と位置づけ、今回のファイナンス対応および事業計画策定サポート等の各種支援を実施してまいります。

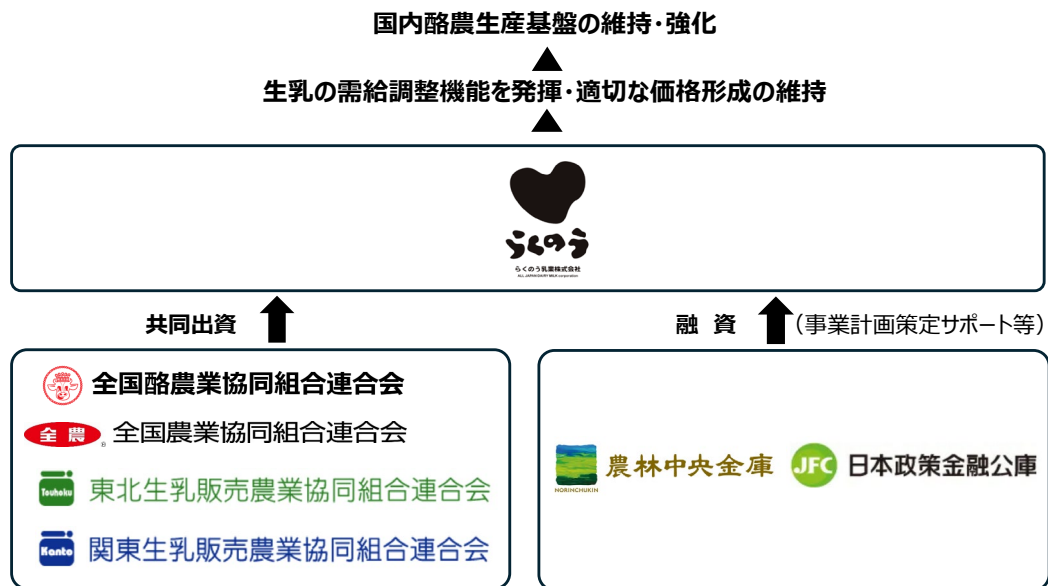
■ らくのう乳業株式会社の概要

名称	らくのう乳業株式会社
資本金 (出資比率)	資本金 1 億円（全酪連 49.5%、 全農 49.5%、東北生乳販連 0.5%、関東生乳販連 0.5%）
本社 所在地	福島県郡山市大槻町字古屋敷 80 番 1 号
事業 内容	脱脂粉乳、バター、生クリーム等の製 造および販売

■ 工場完成予想図



■ 取組みの全体像



2. 本取組みにより期待される効果

全国的に老朽化が進む乳製品工場の新設・高度化を図ることは、国内の生乳需給調整機能の安定化・柔軟性向上、さらには国内酪農生産基盤の維持・強化に繋がることから、国内酪農・乳業界にとって重要な意義を有しています。

また複数の主要関係団体が連携し、一体的なインフラ整備を行う先駆的案件として、今後のモデルケースとなることが期待されます。

農林中金は、「強靱で持続的な食料システムの確立」を目指すうえで、全国的に老朽化が進む共同利用施設の設備更新・合理化・統合に対する金融支援に注力してまいります。

また日本公庫は、国産農林水産物の需要拡大とその生産基盤の維持発展のため、地域に根ざし、農業従事者の経営改善に資する事業に対する支援に注力してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

〇らくのう乳業株式会社 総務管理課

(佐川) TEL : 03-5931-8008

〇農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班

(蔵方・丹羽) TEL 03-6362-7172

〇株式会社日本政策金融公庫 東京支店 農林水産事業（融資第一課）

(高橋) TEL 03-3270-9792